

全国農政連推薦・県農政連公認  
参議院議員藤木しんやの

## 永田町でも 百姓宣言

### 「通常国会が閉会、議論に不満」

通常国会が閉会しました。私は、農林水産委員会が三度、災害対策特別委員会が一度の質問に立たせていただくことができませんでした。

皆さんご存知のとおり、農林水産関係では8本の法律が成立しました。しかしながら、すべての法案審議において十分な審議が尽くされたとは思えません。

参考人質疑でも各方面の識者より、個別の法案はもとより政府が進める農政改革の方向性に疑問視する声がありました。

特に、農業競争力強化支援法や生乳流通改革に関する畜安法の改正については、今後の具体的な運用や制度設計が政省令・通知によつて決定されます。また、主要農産物種子法の廃止については、従来の岩盤が崩された影響がこれからどう出てくるかを注視しなければなりません。農工法の改正や地域未  
来投資促進法による優良農地の転用懸念も報道されています。

### 【E.U.・EPA交渉への不安】

日本農業新聞の報道等でE.U.貿易交渉の大枠合意が近づいており危機感を感じています。自民党では、対策本

部が立ち上がり、私も農林水産分野をテーマとするグループの幹事として参画しています。特に、現場には米国のTPP離脱、E.UとのEPA交渉が情報開示されないままに急展開したような印象があります。生産現場では、体質・基盤強化に取り組みが始まったばかり。現場にこれ以上の不安が広がらないよう、情報開示をしっかりと政府に求めていきます。

### 【自民党米作りプロジェクト始動】

自民党では二階幹事長の強い思いもあり、自民党米作りプロジェクトが始動しました。先日、晴天のもとに行われた田植えでは、国会議員や地元JA等、多くの方々にご参加いただきました。初めて田植えをしたという国会議員が多く、まだまだ農業の現場の現実を知っていた  
だくには時間がかりそうです。

国会は閉会しましたが、農政課題の議論は党を中心に続きます。しっかりと頑張ります。



国会議員による田植えの様子

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの

## 農政問題に斬り込む

### 決算委員会が、規制改革推進会議の運営の在り方で決議

通常国会は6月18日に閉会をしました。私は決算委員会の次席理事という役割で、3度の質疑を行い、テーマは、規制改革推進会議の農業・農協攻撃に納得がいかない、会議の在り方を見直すべきというものであります。

こうした中で、決算委員会では、警告決議と措置要求決議と会計検査院への検査要請を委員会で決議し、警告は本会議でも決議し、政府に警告を発するとともに、改善措置あるいは調査等を求め、さらに検査を求めることができることなっています。そこで私は、規制改革推進会議の運営上の問題点を少なくとも措置要求決議に盛り込むべきだとして、まず与党内で、そして野党にも働きかけて了解を得ました。その経過の中では、与党として政府に求めるのはいかなものかとの意見もありましたが、現行の規制改革推進会議の運営に問題があるところの多くの懸念が出されていることから、下記の措置要求が全会一致で決議されました。

このことが、今後どう活きるか。措置要求決議も、規制改革推進会議を止めるべきと言っている訳でなく、各府省等の審議会との連携をとるべきとするものです。しかし、それはそれで一石を投じたと思っています。

成長戦略の推進と既得権益の岩盤を打

ち崩すとする官邸に支持された規制改革推進会議の力は強く、容易ではないと思いますが、一歩でも前へ動きを作ることが大切です。引き続き頑張ります。

### ○2015（平成27）年度決算審査措置要求決議

（2017（平成29）年6月5日参議院決算委員会）

内閣及び最高裁判所は、本会議を踏まえ、適切な措置を講じ、その結果を参議院決算委員会に報告すべきである。

（1～2略）  
3. 規制改革推進会議による各府省等設置の審議会等における検討状況の把握について  
政府は、内閣総理大臣の諮問に応じ、経済社会の構造改革を進める上で必要な規制の在り方の改革に関する調査を行う規制改革推進会議を内閣府に設置している。同会議は、各府省等における規制について、各般にわたる意見を述べているが、各府省等に設置された審議会等での提言や議論を十分に把握した上で検討、提言する運営になつていないとの懸念もある。

政府は、規制改革推進会議を運営するに当たり、各府省等の審議会等と関連する議論が行われている場合には、これを十分に把握して審議すべきである。

（4～8略）



▲6月1日 全国高等学校農場協会、全国学校農場協会全国大会にて